

スイスが抗議 "FEI エンデュランスの後退"

スイス連邦から2013年3月26日付でFEIに送付され、国内馬術連盟およびヨーロッパ馬術連盟に配信された書簡の中では、“FEI 規律によるエンデュランスの、ここ数年における後退”と、エンデュランスという馬術競技とその馬たちの良きあり方が、問題とされた。

書簡は、“憂える多数のライダー、トレーナー、役員を代表して、というだけでなく、一般の、メディアの、動物愛護団体のオブザーバーたちに代わって”書かれた。書簡はこう述べる。“FEI エンデュランスの現在の状況は、スイス馬術連盟にとってもはや受け入れ難い形となっている”。

書簡は以下のことを指摘する。“馬への虐待、異常なまでの骨折の頻発、危険な治療法、エンデュランス・ライド前および最中における不正行為、一部役員の無責任と職務放棄、といったことに対する多数の目撃証言と書面がある”。

“薬物検査およびドーピング検査の陽性結果の著しい発生率”も、競技の不公平さと共に、目撃されている。

スイスは以前、エンデュランス・ホースのドーピングと、報告された競技の不正に対し、即時的かつ効果的な対策を講じてほしいとFEIに請願したことがある。

このスイスの訴えに続き、フランス馬術連盟とベルギー馬術連盟も、2012年10月に、FEIに対して懸念の書簡を送った。

2012年10月2日付けのベルギーの書簡は、“極度の疲労の結果死亡した馬、あるいは自然発生的な骨折の結果安楽死させられた馬の数は、想像を絶する高率に達している”と述べ、FEIに対し、“加害者が馬術競技から追放され、このような行為が永久になくなることを確実にするための必要な措置”を講じるように要求している。

2012年10月12日付けのフランスの書簡は、エンデュランスの国際大会中の3頭の馬の死を示し、“エンデュランスの規律に関わるウェルフェアの問題”だと指摘した。“3頭が死んだのは、ベト・ゲートのインスペクションをパスした後、トラックの中、そしてトラックの終点だった。これらのケースは、エンデュランスに関わるすべての人にとって憂慮すべき事態である。ここには、エンデュランスの規律に対する一般の認識を汚す危険がある。”

これまでのところ、FEIから公のコメントは発表されていない。